



蘇る感動の瞬間 **2020年**

# 東京オリンピック・パラリンピックがやってくる

## 東京で初開催!

## 秩父宮記念スポーツ博物館巡回展 in 豊島区



平成28年

8月8日(月) ⇒ 26日(金)



【会 場】豊島区役所1階 としまセンタースクエア

【観覧料】無料

【休館日】なし

【開館時間】9時～18時

※開幕日(8日)は12時～18時 ※最終日(26日)は9時～15時

主 催：独立行政法人日本スポーツ振興センター／特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会／公益財団法人日本オリンピック委員会／豊島区

後 援：公益財団法人日本体育協会／公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会／公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

協 力：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

事業運営：スポーツミュージアム連携・啓発事業実行委員会

【会場アクセス】

池袋駅…徒歩9分

東池袋駅…地下通路で直結

都電雑司が谷駅…徒歩3分

東池袋四丁目駅…徒歩4分

豊島区役所1階  
としまセンタースクエア

〒171-8422

豊島区南池袋 2-45-1

電話：03-4566-2764

(学習・スポーツ課 スポーツ振興グループ)

FAX：03-3981-1577



HP: <http://www.city.toshima.lg.jp/>



平成28年度文化庁  
「地域の宝となる興隆  
歴史博物館企画展」

# 2020年 東京オリンピック・パラリンピックがやってくる 東京で初開催！ 秩父宮記念スポーツ博物館巡回展 in 豊島区

1964年10月10日、国立競技場の青空のもと、第18回オリンピック東京大会の幕が華々しく開きました。参加国数が過去最多となるなか、日本選手団は金銀銅あわせて29個のメダルを獲得するなど、目覚ましい活躍をみせました。半世紀を経過した現在でも、歓喜の瞬間は色褪せることなく鮮やかに甦ります。

本展覧会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツ遺産を日本全国の皆さまに広めるべく、企画しました。1964年の東京オリンピックを中心に、日本が初出場した1912年のストックホルムオリンピックから2020年に迎える東京オリンピック・パラリンピックに至るまでの歴史を紹介いたします。



**スパイク(三島弥彦)**  
第5回ストックホルム大会／1912年  
日本初参加となるストックホルム大会で、陸上競技の三島弥彦が実際に履いたもの。



**デレゲーションユニフォーム**  
第18回東京大会／1964年  
日本選手団が開会式で着用したユニフォーム。VANを創設した石津謙介のデザインで、アイビー調のユニフォームが採用された。



**聖火トーチ**  
第18回東京大会／1964年  
トーチは、ステンレスの円筒に点火薬と発煙薬などを詰め込む。燃焼時間は14分ほど。トーチホルダーは柳宗理のデザイン。ランナーの負担を考慮した軽量のアルミニウムを主成分とする合金製である。



**開催案内パンフレット**  
第12回東京大会／1940年  
1940年の東京オリンピック開催を案内する英語版パンフレット。大会は日中戦争により返上することとなり、幻のオリンピックとなった。

## 関連イベント

【開幕セレモニー】 時間：8月8日(月) 11:00～12:00 / 会場：豊島区役所1階 としまセンタースクエア  
内容：開幕宣言、東京音楽大学によるオリンピック音楽コンサート

【講演会】 時間：10:00～11:30 / 会場：豊島区役所1階 としまセンタースクエア / 定員：約100名(申込不要、先着順) / 参加費 無料

8月13日(土)

杉山 祥子



バレーボール元日本代表。1979年生まれ。静岡県出身。2000年、2004年、2008年オリンピック出場。2013年にVリーグ歴代第1位となる329試合連続出場を達成。2013年、現役最後となる黒鷲旗大会では準優勝に貢献し、敢闘賞、ベスト6を獲得した。

8月14日(日)

初瀬 勇輔



NPO法人日本視覚障害者柔道連盟理事、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事。1980年生まれ。長崎県出身。2008年北京パラリンピック出場、2010年広州アジアパラ競技大会金メダル。視覚障害者柔道の選手として活動を続けながら、パラリンピアンとしてパラリンピックの魅力伝える講演活動を積極的に行う。

8月20日(土)

高橋 雄介



中央大学理工学部教授。JOCオリンピック強化スタッフ、中央大学水泳部監督、日本水泳連盟競泳委員。1962年生まれ、東京都出身。1986年から5年間米国へコーチ留学して最新の科学的トレーニング方法を学ぶ。その経験を活かし、中央大学水泳部を監督として史上初の大学11連覇に導いた。オリンピックメダリストの育成指導を行う一方、水泳教室を開催する等積極的に活動している。

8月21日(日)

皆川 賢太郎



プロスキーヤー。1977年生まれ。新潟県出身。1998年、2002年、2006年、2010年に男子回転でオリンピック出場。2006年トリノオリンピックでは4位入賞。プロスキーヤーとして全日本スキー技術選手権大会に出場。2016年アルペンスキー FISワールドカップ湯沢苗場大会の実行委員会副会長に就任するなど、ウィンタースポーツの発展の為に経験を活かしている。

スポーツ  
健康教室

会場：豊島区役所1階 としまセンタースクエア  
フラダンス・チャリティー・空手の発表会やヨガ・太極拳・空手の入門体験などを行います！詳しくは豊島区ホームページをご参照ください。

会期中は平日毎日、  
プログラムを実施！

【その他】

・まるごとミュージアム(豊島区役所4、6、8階)で五輪関連ポスター展示中！  
・スタンブラリー・応援メッセージボード 会期中毎日実施！